

魚の城下町

みんなが主役のまち

No. 283

2017

7

若い力で羅臼町に灯りを
行燈に込めた高校生の思い宿る

～第43回羅高祭 行燈行列19年ぶりに復活～



北海道羅臼高等学校存続問題検討協議会

「羅臼高校をなくさない！」

北海道羅臼高等学校存続問題検討協議会設立

5月31日、町内学識経験者や有識者、町立学校やPTA、協議会議員、町と町教委によって「北海道羅臼高等学校存続問題検討協議会」が設立されました。
今後、高校存続に向け具体的取組みを強化します。

設立総会前段に「高校がなくなると羅臼町がなくなる〜羅臼町の将来を考える〜」と題し、北海道教育大学釧路校 二宮 信一教授にご講演をいただいた。
へき地課題である人口の流出、減少。子ども達の進学による流出、超少子高齢化の進行、地場産業の衰退など、まちの課題と地域社会の持続可能性について、「問われているのは、大人・行政の本気度と次代を担う子ども達の参画であり、学校教育だけでは、問題解決には至らない。また、町内だけで、改革は進まない。適度な外部との交流が必要であり、当事者の本気度がなければ協力者は現れない。」と提言された。

北海道教育委員会は、7月6日に公立高校配置計画（案）を示し、1学年3学級以下の高校を再編整備の対象とする指針をまとめた。



演題
「高校がなくなると羅臼がなくなる
～羅臼町の将来を考える～」
北海道教育大学釧路校 二宮 信一教授

その中でも、全体で1学年1学級の高校から順次キャンパス校（センター校からの遠隔授業等）による高校の仕組み」とするもの。

また、1学年の在籍者が40人以下で、今後も生徒数増が見込めない場合は、当該市町村と協議の後、再編を含めた今後の在り方を検討するとしており、**当町の生徒数増が見込めない場合、その対象となってしまう。**

これまで、町では、平成19年度に「連携型中高一貫教育」に取り組み、平成24年度からは「幼小中高一貫教育」に改め、高校存続に向け自然環境科目群や知床学など高校が取り組む特色のある授業について支援してきた。

現在、羅臼高校は、3年生が2学級、1、2年生がそれぞれ1学級であり、再編整備の対象であることは無論のこと、**全ての学年が1学級となると「連携型中高一貫教育」も解消される可能性があり、教職員数も減らされることから、**

特色のある授業の展開が困難となり、これまで創り上げてきた魅力ある授業が取り組めなくなる。

「再編」とは、つまり地元から高校がなくなる可能性があることを意味する。人口減少と共に地元から高校がなくなり、町外に進学しなければならなくなるといことは、各家庭に大きな経済的負担がかかり、高校に進学させられない可能性も否定できない。また、都市部への就職を助長し、まちの活気が損なわれ、人口減少を加速させることに繋がりがかねない。

二宮教授からの提言にもあったとおり、地域住民や次代を担う子ども達と共に、まちの課題に取り組まなければ、衰退は加速するばかりである。

差しあたって、この9月には入学者募集枠の発表が予定されている。これは、今後3年間の募集枠を決定するものとのこと。

羅臼高校入学者が2間口（41人以上）確保されると平成30年からの3年間の間は、次の策を打てる時間的余裕があるが、そうではない場合、待ったなしの状況となる。如何にして、**地元の進学者を多く確保するか。どのようにして、町外からの進学者を受け入れる体制づくりをするかなど**が大きな課題となっている。

特色のある授業をつくり上げ、羅臼のために頑張っている地元高校・教員を支援し、盛り上げていかなければならない。

この度設立した「高校存続問題検討協議会」では、これらの状況から、具体的な策を検討し

実行していくこととなった。

危機感を持って強い意志で、地元住民と共に、地元の道立高校が存続されるよう、総力を持って活動を盛り上げていかなければならない。

そのために、個々に「何ができるのか」を考えていく必要がある。



新しいまちづくり

「Kプロジェクト」の推進

動き出したアンダー60創造会議・オーバー60協力隊

■羅臼の未来を考えるアンダー60創造会議（以下、アンダー60）

アンダー60の参加資格は、60歳以下で、町民もしくはは知床ろうすをこよなく愛する人であれば会員登録が出来ます。

毎回テーマを設けて会議のご案内をいたしますので、自分の興味のあるテーマによって自由に参加できる形式をとっています。

様々な課題や問題点を話し合い、自分たちの未来は自分たちで考えるところに「気づき」、「結束」、「行動」していく場として開催しています。

現在までに8回の会議を開催し、会員に登録される方が徐々にありますが増えてきており現在34名の方が登録されています。



■羅臼の未来を支えるオーバー60協力隊（以下、オーバー60）

オーバー60への参加資格は、60歳以上の町民であれば会員登録が出来ます。現在11名が登録されています。

オーバー60は、アンダー60で話された内容をさらに議論し意見を加え、助言・提言という形にまとめていただくと共に、若い世代の応援団として「後援」頂き、共に活躍「協働」し経験に裏付けされた良き習慣や歴史や技術、大自然の中で生きていくための知恵などを次世代を担う若者たちに「継承」していただきます。

一緒にまちづくりを考えて、共に活動し「絆」を深め、「郷土愛」を育んでいくまちづくりを目指しています。



町民目線で働く

行政の役割

行政としては、すべてをアンダー60、オーバー60にお任せするのではなく必要なものや効果の期待できるもの、すばらしいアイデアなどには積極的に助成「公助」していき、共に考え未来を創造していきます。

「幸福」と感じる物差しは、持っているスキルや経験で人それぞれ違いますが、お互い協力し尊重しあい善意をもって行動していく町民の「心」をまちづくりの基本として「Kプロジェクト」を今後も推進していきます。

町の方針

◆第1回テーマ

「まちの花、木、鳥、技」を見直すべきか

「まちの花、木、鳥、技」につきましては、昭和45年羅臼町70周年記念に制定されたものであり、制定から45年が経過し国内外の社会情勢は多様化し当町を取り巻く状況も大きく変化しております。

平成27年に実施した「まちづくりアンケート（18歳以上）」の中で、「まちの花、木、鳥、技」についての質問項目では、全体的に「相応しくない」との回答が多く、特に町技は50%以上が「相応しくない」との回答でありました。

アンダー60では「現状に合わせて見直すべき」との提言でありオーバー60でも、「まちの花、木、鳥、技」については開基120年の節目に向けて見直しの検討をしていくべきと後押しをいただいたことから、町としては制定



町技「スキー」



まちの鳥「オジロワシ」



まちの木「ななかまど」



まちの花「シバザクラ」

から50年目となる平成32年の羅臼町120周年記念に向けて検討させていただきます。

ご意見・ご要望に対してすぐに始められるもの。また中期・長期的な計画の中で検討、もしくは変更していかなければならないものがあります。その点はご理解をいただきたいと思います。

新しいまちづくり。 未来を創造する一員に

普段、人前で話をしたり考えを述べたりすることが少なく、苦手だという方も会議に参加することで克服するトレーニングになったり自分とは違った考えを聞くこともできます。

随時、会員募集をしておりますので、役場まちづくり課へお問い合わせ下さい。

※第2回テーマ「ゴミの分別と不法投棄」についての町の方針は、紙面の都合上9月号に掲載いたします。

（まちづくり課 ☎87
12162）



あしたへつながる防災知識

第5弾

気象警報が生まれ変わります!!

平成26年に広島市で発生した土砂災害や平成27年の関東・東北豪雨、平成28年には羅臼町を含め道内各地に相次いで接近・上陸した台風等の大雨による土砂災害、洪水害、浸水害など、日本は毎年のように大雨による災害に見舞われています。

このような状況を踏まえて、気象庁がさらなる防災・減災対策の取り組みとして、防災情報、気象警報等を改善しました。



1. 「警報級の可能性」(本年5月17日から)

例えば台風の接近時など、現時点ではさほど荒れていなくても、警報を発表するような悪天候が予測された場合には、5日先までの警報発表の可能性を〔高〕・〔中〕の2段階で発表し、色分けした図表を用いることで、一目で分かるように改善されました。(図1)

平成〇〇年10月4日17時00分 ××地方気象台発表

××県の警報級の可能性

南部では、5日までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性						
	4日	5日		6日	7日	8日	9日
	明け方まで	朝～夜遅く					
	18-6	6-24					
大雨	[高]	[高]		-	-	-	[中]
大雪	-	-		-	-	-	-
暴風(暴風雪)	[高]	[高]		-	-	-	-
波浪	[高]	[高]		-	-	-	-

[高]:警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。

[中]:[高]ほど可能性が高くはないが、警報を発表するような現象発生可能性がある状況。

図1 5日先までの警報級の可能性を色分けした図表
(本年5月17日から気象庁ホームページで公開)

2. 「危険度を色分けした時系列」(本年5月17日から)

これまでは文章のみで発表されていた気象警報・注意報を、一目で分かるように危険度を時間ごとに色分けした図表で表示されます。

例えば、図2のように夕方のうちに注意報が発表され、夜には警報が発表されるような大雨や暴風となり、夜間から早朝に特別警報を発表する可能性があるような場合には、危険度が高まる時間帯が視覚的に分かりやすくなりました。

△△市		今後の推移 (■特別警報級 ■警報級 □注意報級)									備考・ 関連する現象	
発表中の 警報・注意報等の種別		4日			5日							
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	40	50	70	110	110	70	50	30	30		
	(浸水害)										以後も注意報級 浸水警戒	
	(土砂災害)										以後も警報級 土砂災害警戒	
洪水	(洪水害)										以後も注意報級 氾濫	
暴風	風向 風速 (矢印・ メートル)	陸上	10	15	20	50	50	30	18	15	12	以後も注意報級
		海上	10	15	20	50	50	30	20	15	15	以後も注意報級
波浪	波高(メートル)	4.0	6.0	8.0	11.0	11.0	6.0	6.0	4.0	3.0	うねり	
高潮	潮位(メートル)	0.7	0.7	1.5	4.0	4.0	3.0	2.0	1.5		ピークは5日3時頃	
雷											竜巻	

図2 危険度が高まる時間帯を時系列に色分けした図表 (本年5月17日から気象庁ホームページで公開)

【各種別についての凡例】

- : 特別警報
- : 警報
- : 注意報
- : 今後特別警報に切り替える可能性が高い警報
- : 今後特別警報に切り替える可能性が高い注意報
- : 今後警報に切り替える可能性が高い注意報



3. 命を守るための「危険度分布」の予測の提供開始 (本年7月7日から)

大雨・洪水警報が発表されたときに、どこで実際に危険度が高まっているのかを地図上に色分け表示されます。(図3、4) 例えば、「洪水警報の危険度分布」(図4)では、実際に水位が上昇するより早い段階で、中小河川の急激な増水による危険度の高まりを確認できるようになります。

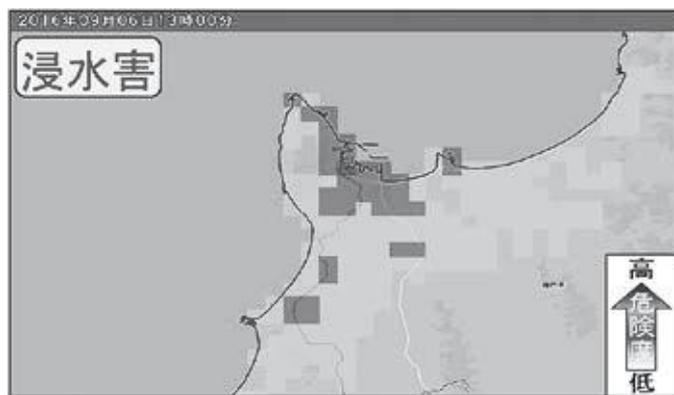


図3 大雨警報(浸水害)の危険度分布 図4 洪水警報の危険度分布 (本年7月7日から気象庁ホームページで公開)

これらの改善した情報は気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jp/warn/>) でご覧いただけるようになります。

警報・注意報等が発表された時には、いつ・どこで災害発生危険度が高まると予想されているのかをご確認いただき、安全確保のための早めの行動を心がけてください。

お問い合わせ先 釧路地方気象台防災気象官 電話(0154)31-5146

災害時の薬不足に備えるために

ヘルス
チェック

昨年夏の大雨では大規模な土砂災害が発生しました。被災された方々に改めてお見舞い申し上げます。

またその季節がやってきます。いつ起こるかわからない災害に対して、今一度準備ができていますか確認していただきたいと思います。

災害の規模にもよりますが、通行止めが長引くと医師の診察をすぐ受けられない可能性があります。

◎病気で治療している方は、持病の薬を常日頃から持ち歩いたり、非常時持ち出しグッズに入れておきましょう。それらは自宅のすぐ持ち出せる場所に置いておきます。

◎医師から処方されている降圧剤（血圧の薬）や糖尿病薬など欠かさずに飲む必要がある薬は、3日間から1週間程度の予備を密閉できる袋（ジップロックなど）に入れておきましょう。

◎「お薬手帳」は外出時予備薬と一緒に持ち歩くようにしましょう。避難生活が長期化した場合や、自分が飲んでいる薬の名前や種類が覚えられない場合、これがあるとスムーズに処方を受けられます。

最優先は自分の身を守ることです。日頃からの備えと心がけ、そして万が一の際あわてず行動することを忘れないでください。

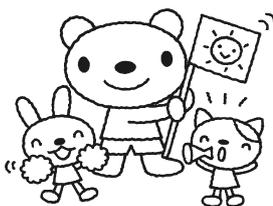


子育て情報ひろば ~すくすく~

★ありんこ運動会★

羅臼町子育て支援センター『ありんこ』では毎年ありんこルームでミニミニ運動会をおこなっています。はいはいが出来る子なら0歳からでも楽しめる競技もあり、親子で頑張る姿が見られましたよ。

『ありんこ』では他に遠足やお祭りごっこなども予定しています。毎月発行のありんこ通信でご確認していただくか、羅臼町役場ホームページと保健福祉課窓口には日程表をおいてありますので、そちらをご覧ください。下記の問い合わせ先に直接連絡してください。



♪8月・9月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳~3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳~3歳対象)

8月3日	健康ヨーガ教室	8月4日	すくすく広場	8月7日	ママの日♪
8月24日	健康ヨーガ教室	8月25日	のびのび遠足	8月30日	春松幼稚園訪問
9月1日	すくすく広場	9月4日	ママの日♪	9月6日	羅臼幼稚園訪問
9月7日	健康ヨーガ教室	9月13日	お祭りごっこ	9月21日	健康ヨーガ教室
9月25日	ありんこ計測	9月28日	★おはなし会	9月29日	のびのび広場

*健康ヨーガ教室・のびのび遠足・お祭りごっこについては事前に申し込みが必要です。

★印は公民館でおこないます。

*お問合せ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 Tel.88-1515



物理療法のお話

～みんなで育む・みんなの診療所～

物理療法とは？

らうす診療所では、外来医療保険で物理療法によるリハビリを受けることができます。物理療法とは、「身体に物理エネルギー（温熱、寒冷、電気刺激、光線、その他）を加えることで、生理的・生化学的変化を起こし、血液循環の改善、筋の緊張や痛みを除去、軽減するもの」です。

当診療所にある物理療法の機器は下記の通りです。



↑**極超短波**：温熱療法の一種で、患部にあてることで循環の改善や痛みの緩和が図れます。主に深部に原因があるときに用います。金属が体のなかにある場合は、吸収してしまうため、実施できません。



←**ホットパック**：温熱療法の一種で、患部にあてることで循環の改善や痛みの緩和を図れます。主に表面に原因があるときに用います。



↑**牽引療法**：頸椎、腰椎の牽引により循環改善、しびれ・痛みの軽減を図れます。



↑**低周波**：神経や筋を電気刺激することで疼痛の緩和や、動きの悪い関節に対して運動を促します。

どうしたら物理療法を受けられるの？

物理療法を受けるためには、**医師の指示が必要です**。診療所の内科、整形外科、脳神経外科などを受診し、医師の診察のもと、必要性があれば受けることができます。

物理療法を受けるにあたって

物理療法は服薬や関節注射、安静、食事療法など、**あくまで原因に対する治療法の1つ**です。治療の効果の範囲や程度、どのくらい治療を受けたら効果があるかなどは人によって異なります。

まずは腰痛、膝痛、五十肩などでお悩みの方は医師にご相談ください。



～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 Tel87-2116



春松中学校・羅臼中学校閉校式が 12月3日に決定

昭和22年に羅臼・春松各小学校の併置校として開校した両中学校が、この度知床未来中学校の開設により平成30年3月31日をもって閉校することとなりました。

この閉校に伴い、12月3日（日）に春松中学校は10時から、羅臼中学校は13時30分から、各中学校校舎で、生徒、PTA、教員、町内会長の他、町及び教育関係者の方々と、閉校式が行われます。

また、当日は生徒やその保護者の方々に学校を偲んでもらうため、写真展などを各校で行う予定です。

この閉校式に向けた組織として、春松中学校は閉校事業協賛会（田中喜代志会長）を、羅臼中学校は閉校式実行委員会（福山勝利委員長）を設立し、両校とも閉校式等に係るご寄付を募ることとなりました。ご寄付によっては記念誌の贈呈を予定しております。詳しくは、下段の表をご覧ください。



春松中学校校舎



羅臼中学校校舎

●閉校式に伴うご寄付について

学校名	取扱期間	寄付額	寄付の納入方法	連絡先
羅臼中学校	7月25日 ～9月29日	一口1,000円	①現金の場合 ・中学校又は教育委員会へお持ち下さい ・寄付台帳への記載、必要に応じて領収書を発行致します	羅臼中学校閉校式実行委員会事務局 菅原晋 (羅臼中学校 教頭) Tel 0153-87-2049
		3,000円以上 で記念誌贈呈	②郵便局口座への振込 02730-6-49672 郵便局払込取扱票にてお振込み下さい (振込手数料は寄付者のご負担)	
春松中学校	9月頃 ～10月31日	寄付額は定めていないが 3,000円 以上で希望者に記念誌贈呈	①校区については、町内会での 寄付集め（9月からを予定）	春松中学校閉校事業協賛会事務局次長 古賀勝利 (春松中学校 教頭) Tel 0153-88-2261
			②現金の場合 ・中学校又は教育委員会へお持ち下さい ・寄付台帳への記載、必要に応じて領収書を発行致します	
			③振込 郵便局口座、マリンバンク口座をご利用下さい 詳細は7月25日発行のお知らせをご覧ください	

広がれ!

公民館図書館の子育て支援

Bookstart
7周年



絵本のある子育て



H29年3月の会場で

生後10ヶ月前後になると絵本の中のリズムのある言葉や、カラフルな絵と一緒に楽しめます。

テレビやスマートフォンなど人工の音は消して、「静けさ」を大切にしながら絵本を読んでみてください。優しい言葉で語りかけると心を通わせることができます。

しがっているかを考えてやりとりを繰り返しながら親密で信頼感のある人間関係を築きます。

なぜ赤ちゃんに絵本を読むの?

赤ちゃんは、声をかけ、抱きしめ、赤ちゃんがどうして欲



絵本のある子育ては、慌ただしい中に大人もホッとする時間を作ることができず。図書室では、赤ちゃんとその成長に関わる人が、お互いに心を通い合わせ、幸せが感じられるきっかけを作っていきたいと思

大人にとっても心安らぐ時間に

目をみて授乳するとオキシトシンという愛情ホルモンが分泌されますが、スキンシップをしながら絵本を読むと同じホルモンが出るそうです。絵本を喜ぶ子どもにいつそう愛情を感じ、親子の絆が自然に深まります。



H29年3月の会場で

子育てを応援する輪

ブックスタート事業は乳児健康相談会（生後5〜7か月）に来る親子に絵本を読み始めるきっかけづくりをする事業です。

家庭で読む絵本を一冊プレゼントし、司書が赤ちゃんに読み聞かせをします。また図書室を活用していただくため利用案内をしてバッグやお手玉を贈ります。心のこもったプレゼントは「町で子育てする人を応援したい!」という地域の方々に支えられ手作りで作成しています。あなたも得意な事を活かして子育てを応援する輪に参加しませんか?

関わる人にも幸福感が広がる赤ちゃんとの時間

● 協力者名 ●

- ◆ バッグ縫製 (H22~) 四ツ屋由紀子さん
- ◆ ポーチ縫製 (H29~) 丸山久美子さん
- ◆ 陶製ボタン (H28~) 池田幸代さん
- ◆ 土俵袋提供 (H27~) 田中紅美子さん
- ◆ お手玉縫製 (H25~) こまぐさ学級協力隊
- ◆ ちいさい子のおはなし会 こぐまちゃんサークル

「ちいさい子のおはなし会」

【今後の予定】木曜日10:30

● 日程 9/28、11/16、2/15

● 場所 公民館和室

● 入園前の子対象、無料
手を叩いて笑う姿が関わる大人にも幸せを運んでくれます。



「ちいさい子のおはなし会」6/29実施の様子





城下町のわだい

みんながまちづくり

地域を編む

〓 釧根地区更生保護女性会員
羅臼町に集う

平成29年5月30日(火)



羅臼町を会場としては初めてとなる、釧根地区更生保護女性会員研修会が開催されました。研修会の冒頭では、知床羅臼町観光協会池上事務局長による「羅臼でいたい」と題した内容で講演が行われました。知床の四季に基づいて、人や自然、産業、観光との結びつきが伝えられ、参加された方々に羅臼町の魅力を知ってもらえた時間となりました。

その後、グループ討議へと移り、「地域との連携」「広報活動と会員拡大」の2テーマについて各地域での取り組み状況や実態、意見を共有し、今後の活動に活かせる意見交換が行われました。

常に地域と隣り合わせで様々な活動を展開している羅臼町更生保護女性会の皆様今後の活動にも目を向けていきたいと感じたところです。



町では協働のまちづくりを推進しています。

ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載して行きたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

四連覇達成 乳質改善最優秀賞

〓 羅臼営農推進組合

平成29年5月30日(火)



峯浜地区で酪農を経営している9戸で組織している「羅臼営農推進組合」は、生乳の乳質向上と保全に努め、標津町農協管内13団体で細菌等が最も少ない生乳を生産したことが高く評価され、最優秀賞を受賞されました。

おめでとうございます。



平成29年6月9日(金)

知床の 環境保全活動に寄付

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（佐々木康行社長）より町内に設置している自動販売機の売上金の一部「295,788円」の寄付をいただき、寄付金贈呈式が行われました。

この寄付は、世界自然遺産として登録された知床地区に対する応援事業として平成20年より継続して行われており、今年で総額「3,266,743円」の寄付をいただいております。長年にわたるご厚意ありがとうございます。



平成29年6月12日(月)・13日(火)

九州の大手ホテルシェフ 知床羅臼産食材に好印象

全日本司厨士協会福岡・熊本支部による「新たな北海道食材を採る」視察団が2日間にわたって羅臼町を訪れました。

この視察団は毎年ホテルなどで北海道のご当地名を付けた食のイベントを開催するために現地視察を実施しており、ホテルオーナー・クラ福岡の谷内雅夫総料理長ら7名が知床らうす特産品販売振興会との交流を希望

したもので、羅臼の宿まるみを会場に懇親を深めました。

北海道フェアは、近年の力二・ホタテの高騰により開催が厳しくなっていますが、ホテルのレストランでは北海道フェアは人気企画であり、北海道の美味しい食材を九州の方々を知っていただき、あわせて食材産地の知名度向上につなげることを目的に開催されています。

これまでに北海道フェアを通じ、ホテルの定番メニューになった食材も多々ある一方で、今年度の北海道羅臼フェア開催が期待されるところです。



平成29年6月14日(水)

災害に備えて避難場所や家庭防災備蓄の確認をしよう 〜平成29年度羅臼町防災訓練実施〜

町内会をはじめ、各小中学校、羅臼高校、幼稚園や福祉関係事業者、商工会、羅臼漁協、買受人組合のほか一般企業の参加を頂き、町民の25%、1,333名が避難訓練やシェイクアウト訓練を実施致しました。また、役場を含めた、羅臼海上保安署、陸上自衛隊第302沿岸監視隊、羅臼駐在所、羅臼消防署、知床らうす国保診療所等の関係機関による訓練では、大津波警報発令に伴う注意喚起及び情報伝達訓練や負傷者の搬送訓練を実施致しました。

この訓練は地震津波災害を想定しており、防災意識の高揚を図り、家庭や企業で防災について考えていただく機会になるよう1年に1回実施しております。防災訓練は今後も継続して実施致しますので、町民皆様のご参加をお願い致します。

今回ご参加された方々、ご協力をいただいた関係機関の皆様、大変ありがとうございました。



災害対策本部訓練の様子



避難行動要援護者の避難訓練



シェイクアウト訓練

平成29年6月16日(金)

関西京都今村組 LIVE in 羅臼

羅臼町民体育館を会場にダンスチーム「関西京都今村組」による公演が開催されました。当日は、町民や北方四島交流事業で羅臼町を訪れていたロシア人等、200名を超える観客が集い、オリジナル曲にあわせた迫力ある演技や今流行の曲にのせたダンスが披露されました。

最後の曲では、「関西京都今村組」と「羅臼高校生」とのコラボレーションが実施され、翌日に控えた知床開き(ヤングフェスティバル)で披露される「羅臼夢追歌」によるダンスで会場内を沸かせてくれました。観客を巻き込むかっこいい演技で、観ている人も踊りたくなるような時間が流れていました。



平成29年6月17日(土)・18日(日)

第56回知床開き 〜大盛況の2日間〜



晴天の中、スタートを
きった第56回知床開き。
開始の合図とともに役
場から会場までの道のり
を、前日まで猛特訓を重
ねてきた「羅臼夢追歌」
にあわせて羅臼高校生に
よる踊りが披露されました。

そして、メイン広場・ステージで
は、綱引き大会や知床いぶき樽演奏、
芸能まつりと町民皆様の力が発揮さ
れた一日で前夜祭は終了しました。
当日祭は、寒空のもとでの開催と
なりましたが、聞きなれたあの曲
「羅臼音頭」にあわせて千人踊りが
行われ、小学生によるドッジボール
大会では、熱い戦いが会場内で繰り
広げられておりました。

前夜祭、当日祭ともに多少の天
気の崩れや気温が低かったものの、
雨にあたることなく両日併せて6、
173人の方が来場された知床開き
となりました。

関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



平成29年6月23日(金)



パパユニット 春松幼稚園で 絵本ライブ!

羅臼町立春松幼稚園にて、絵本を読み聞かせるパパユニット「PAPA'S」絵本プロジェクト」のイベントが開催されました。

パパユニットは2003年に結成し、これまで全国各地500カ所を回り、今回羅臼町には2回目の訪問となりました。

ライブでは、園児たちに大人気の「ぐりとぐら」等全10曲をウクレレを使って演奏され、独特のリズムで園児たちと一緒に輪唱しました。会場は園児たちから大きな拍手と歓声に包まれていました。楽しいライブありがとうございました。



平成29年7月3日(例)



北海道マリンビジョン 21コンテスト会長賞受賞 〜羅臼地域マリンビジョン協議会〜

平成28年度に、知床羅臼町観光協会が導入した、地元漁業の歴史や、魚食文化を観光客等に説明する「町民ガイド認定制度」

が魅力のある漁港漁村づくり事業として評価され、羅臼地域マリンビジョン協議会が、6年ぶり2度目の会長賞を受賞しました。

また、平成15年度から平成27年度までの間、北海道マリンビジョン21促進期成会の会長として、北海道の水産業の活性化と発展に務めた脇前町長へ「感謝状」が贈呈されました。



平成29年7月5日(例)



むし歯のない子の表彰式

幼稚園の
歯科健診で、
むし歯のな
かった子の

表彰式が行われました。今年度、むし歯のないお子さんは22人でした。今後生えてくる永久歯も、健康に保つていきましょう。

平成29年度 むし歯のなかったお子さん(年長)

住所	対象者氏名	住所	対象者氏名
峯浜町	アマガタ ソウスケ 天方 颯祐 くん	緑 町	サカイ コトハ 堺 詩葉 ちゃん
	ヒエダ アイコ 稗田 愛子 ちゃん		カワグチ コウセイ 川口 航世 くん
麻布町	ウオツ ココミ 魚津 心海 ちゃん	栄 町	タニグチ ルナ 谷口 瑠菜 ちゃん
八木浜町	タカノ タイチ 高野 泰知 くん		フドウ ユキ 不動 柚希 ちゃん
知昭町	オオタキ アオイ 大滝 葵 ちゃん	船見町	サトウ ユメ 佐藤 優芽 ちゃん
	ヒライ カオ 平井 花緒 ちゃん		ムカイグチ ミカ 向口 実花 ちゃん
礼文町	オグラ ソウスケ 小倉 颯介 くん	海岸町	イダ アナ 井田 歩菜 ちゃん
	フクヤマ カノン 福山 翔音 くん		カミオ ユキ 神尾 柚菜 ちゃん
本 町	アマウチ ネネ 天内 寧音 ちゃん	岬 町	オオクニ ハル 大國 波翔 くん
	ムラタ ユウセイ 村田 悠惺 くん		ヒラカワ アオイ 平川 葵 ちゃん
富士見町	ナカムラ ソウ 中村 想 ちゃん		ワダ アカネ 和田 朱音 ちゃん



TAXコラム

(税務財政課通信)



「町税及び国保税の第1期分の納税は、お済ですか？」

平成29年度分の町税及び国保税の第1期分の納税は、お済ですか。納期限を過ぎて納税しますと、延滞金が増加されますので、納期限内に納税するようお願いいたします。

また、納期限内に納税されない場合は、不動産、自動車、預貯金、給与、生命保険等の差押えの対象となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【一度に納税できない場合は、納税相談を！】

一度に納税できない方は、分割納税などの納税相談を行っておりますので、ご相談ください。また、休日や夜間窓口も随時開設しておりますので、ぜひご利用ください。

【納税は、便利な口座振替で！】

町税等は、銀行などの預貯金から口座振替の方法で納めることができます。手続きは簡単ですし、一度のお申し込みで、翌年度以降も継続されます。

詳しくは、役場税務財政課までお問い合わせください。

【7・8月の夜間窓口】

〈7月〉 7月31日(月) 午後8時まで
 〈8月〉 8月31日(木) 午後8時まで
 ※7・8月は休日窓口を休止いたします。

＜お問合せ先＞役場税務財政課 TEL 87-2113

受賞おめでとうございます

★春の叙勲 瑞宝双光章

西山 修次 様

昭和48年に根室北部消防事務組合羅臼消防団の団員を拝命、その後平成21年に団長に就任。44年有余の永きにわたり団の指導や地域防災、消防体制の強化に尽力してきた功績により受賞されました。



★厚生労働大臣特別表彰

小水 忠良 様

昭和58年から平成28年までの33年5月の永きにわたり「羅臼町民生委員・児童委員」として、保健指導にあたられ、会長に就任後は、地域社会の福祉の増進につとめてこられた功績により受章されました。



人権擁護委員のおしらせ

平成29年7月1日付で法務大臣より中陳美鈴氏(再任)が委員に委嘱されました。

人権擁護委員は日常生活に埋もれている人権問題を救い上げるために、町長の推薦を受け、法務大臣から委嘱されます。

随時、人権相談に応じておりますので遠慮なくご相談下さい。

羅臼町の人権委員は次の方です。

- ・山中 伸行
- ・中陳 美鈴
- ・田中 郁子

寄付・寄贈 ありがとうございます

知床・羅臼まちづくり基金

「その他、目的達成のために町長が必要と認める事業」

- 加藤 隆榮 様
- 高橋 力也 様

「豊かな心身を育み、明日へとはばたくまちに関する事業」

丸ト田中水産有限会社 様

(平成29年5月11日)
 平成29年7月10日受付分掲載)

おくやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)

羅臼いさり火吟社

6月例会句
平成29年6月

短夜は花の凶鑑と共におり

悠羅

水底に魚翻りきらり夏

鹿山

相席の傘衣の人も伊勢うどん

泥舟

鯨見ゆ灯台岬夏の雲

羅牛

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、下記までお問い合わせ下さい。

〒086-1823 羅臼町栄町

羅臼いさり火吟社 宮腰 實

(電話)0153-87-3758

人の動き

平成29年6月末現在 ()内は平成29年5月末対比

人口 5,238人 (-10) 男 2,591人(- 5)
世帯 2,104世帯(- 7) 女 2,647人(- 5)

編集後記

今月号の表紙を飾ったのは「羅臼高校生による行燈行列」。
よく晴れた暑い日にも関わらず、沿道にはたくさんの方の皆さんが高校生の姿をみようと駆け付けていました。行燈行列の実施は19年ぶりということで、集まった方々からは「懐かしい〜」、「私たちもやったの〜」と心躍らせる声が多く聞かれ、道の駅前では観光客に対しても羅臼高校をアピールできたのではないのでしょうか。
学生による取り組みが羅臼町のPRとなり、またそれが羅臼町の活気につながる瞬間が多くなってきているような気がします。ぜひ、皆さんも今後の学生の活躍に目をむけて応援していきましょう。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 平成29年7月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>